

経営改善計画書(令和5年度～令和7年度)

団体名	有限会社かみんぐさじ
-----	------------

様式2

現状と課題	新型コロナウイルスによる感染拡大もおさまり、地域間の交流が盛んになってきた昨今であるが、書道用紙の需要は以前として徐々に減少傾向にある。また、紙漉き職人も年々高齢化が進んでおり、後継者育成が重大な課題となっている。それに加え、世界情勢・世界経済の悪化により、原油価格の高騰や和紙原料不足等、因州和紙をとりまく状況は悪化する一方である。しかし地域の重要な文化である因州和紙を未来へ繋ぐため、若年層に向けた新商品開発や、アーティストの和紙使用のサポート、シニア向けのワークショップの開催、海外へ向けた情報発信等々、まだまだ挑戦できることがあると感じている。職員一同、一丸となり取り組む。
経営方針 (令和7年度目標)	効率よく和紙生産を進め、国内外に目を向けて情報発信していくことで、新規顧客開拓と売上アップにつなげていきたい。また、地域のシニア層や、子どもたちを楽しんでもらえるよう、魅力ある体験メニューを開発することで、地域の皆様にとって親しみある施設となれるように取り組む。

視点	7年度目標 (期間内の 最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント（経営改善効果）	市担当課コメント			
			取組内容	目標値	取組状況	実績値					
経営改革 （財務面での長期見直し）	新商品開発・商品化実現（一品）	5年度	ホームページ(EOサイト)リニューアル		R5.10月 サイトリニューアル	1日平均訪問者数4人→9人	スマホ対応サイトになったことで、サイト訪問者数が増えた	主力商品である画仙紙の需要が低迷する中、新商品開発と需要の新規開拓は経営改善には必須であるため、着実に取り組んでいただきたい。			
			インバウンド等対応に向けた職員研修の受講(実施)	年1回	R6.2月 鳥取県「工芸品の欧州市場販路開拓セミナー」参加	年1回	インバウンド対応ではなかったが、欧州市場での販路開拓に繋がった				
			若年層をターゲットにした新商品開発	年1種	「和紙自由帳まめほん」、「手すき和紙のファイル」	年2種	京都「恵文社」鳥取フェア「和紙自由帳まめほん」50冊完売				
		6年度	海外へ向けた情報発信を開始	年1回	自主的には実施できなかったものの、海外インフルエンサーによる発信に参加	年2回	SNSでの交流を通して、海外での和紙需要を探ることができた				
			シニア向けワークショップ、イベントの開催	年1回	R6.9月 八上地区公民館「押絵教室」、R6.10月 西郷地区公民館「押絵教室」等	年3回	佐治町内外でのシニア向けワークショップは今後も継続したい				
			若年層をターゲットにした新商品開発	年1種	ポケモンローカルActs「サンドの和紙自由帳」、「因州和紙ポストカード」2種 他	年4種	今後もポケモン「サンド」商品やチガヤ和紙商品を増やしていきたい				
		7年度	インバウンド向けに紙すき体験に親しんでもらえるプランを作る		検討中		東京都内では非常に人気とのこと、実施できるよう検討が必要				
			シニア向けワークショップ、イベントの開催	年1回	湯梨浜町社会福祉協議会 うちわ作り	12名参加	少人数であれば十分実施可能と感じた。継続を目指す				
			若年層をターゲットにした新商品開発	年1種	発表できず、次年度へ持ち越し		ポケモン関連商品や砂丘関連商品が好評のため、生産を優先				
		組織改革 （組織見直し、人材育成）	自社製品のブランド化（一件）	5年度	後継者育成支援事業の活用		鳥取県ふるさと産業後継者育成支援事業を申請		研修生1名受け入れ	体調不良によりお休みされた期間もあったが、研修継続中	若い後継者の育成による技術の継承や様々な団体とのコラボレーションにより、新たな価値観や取り組み、ブランド化へつながることを期待する。
					移住・定住の取り組みに参加する	年1回	R5.12月 鳥取来県募力Fæin東京「Merry×和紙」和紙提供		年1回	鳥取移住コーディネーターとの繋がりができた。今後も継続したい	
					地域団体・施設との連携		R6.1月 さじアストロパーク合同イベント「和紙の時計作り」		年1回	佐治支所、さじアストロパークとの連携で実現できたので継続したい	
6年度	自社製品のブランド化(佐治みつまた紙等)				鳥取砂丘の外來草「チガヤ」を使用した和紙の商品化		大きな話題となり、今後も弊社をあげて取り組んでいく	新商品の開発や大学生との交流によって、新たな需要を生み出している。引き続き、様々な世代の人との交流を通して、幅広い分野に挑戦していただきたい。			
	芸術系専門学校・大学へコンタクトをとる			年1回	県因州和紙組合×東京芸術大学 日本画コース 学生との交流	年2回	どんな和紙を求めているか等話を聞くことができ、今後に活かす				
	国内外からの移住希望者へアピールする			年1回	R6.12月 鳥取来県募力Fæin東京「移住×因州和紙」講師として参加	年1回	これをきっかけに実際に移住された方がおられ、今後も継続したい				
7年度	芸術系専門学校・大学へコンタクトをとる			年1回	県和紙組合を通じた交流	年1回	東京芸術大学日本画コースの学生との交流は今後も継続したい	大学生や移住希望者など、多様な人材との交流を通じて、新たな視点や発想を取り入れながら、因州和紙のさらなる可能性の追求に努めていただきたい。			
	国内外からの移住希望者へアピールする			年1回	R6年度鳥取来県募力Fæ参加者との交流、若桜地域おこし協力隊との交流	年2回	移住者の視点でみえる因州和紙を知ることでの今後の活動に活かす				
	地域団体・施設との連携				実施できず(移住関係団体等)		自社製品や因州和紙のアピールのため、外部との連携は必須				
公益増進 （顧客サービスの向上、社会貢献）	出張体験メニューの開発（一件）			5年度	学校・地域団体の和紙使用をサポート	随時	佐治小学校や、佐治人権福祉センター等で和紙を使用	年5回	日常的に使用していただけるよう、仕組みを作っていきたい	和紙への理解や価値観を高めるとともに、地域振興につながる重要な取り組みであるため、継続して取り組んでいただきたい。	
					展示・販売スペースのリニューアル案検討	随時	リニューアル検討会議 開催	年2回	和紙が引き立つようなレイアウト、日々の掃除がしやすい配置へ		
					地域団体・施設との連携		さじ保育園 卒園証書作り	年1回	地元の特産品である「和紙」について理解を深めてもらった		
		6年度	展示・販売スペースのリニューアル案実施		実施できず、令和7年度に持ち越し		より手に取りやすく、シンプルで清潔感のある売り場を作る	多くの地域イベントへの参加を継続していただき、地域振興に努めていただきたい。また、更なる販路拡大に向けて、いろいろな方との交流を継続していただきたい。			
			夏休み 子ども向けイベント開催	年1回	R6.8月 さじつクラブ 和紙の風作り	年1回	子ども達に和紙に親しんでもらえるよう、今後も企画していく				
			アーティストとの交流・サポート	随時	R6.3月 鳥取・ヨテボリ クラフトエクステンジプロジェクト アーティスト来館 他	年2回	海外アーティストの方との交流は今後も継続していきたい				
		7年度	地域内共助交通を利用したシニア向けイベント開催	年1回	佐治町まちづくり協議会との連携で「剪画ワークショップ」開催	年1回	恒例行事にできるよう働きかけていく	和紙は、単体での利用だけでなく、多様な分野と結びつく可能性を持つ素材でもある。様々な場所での体験機会の創出を通じて、和紙の魅力を幅広く発信するとともに、新たな活用方法や可能性の追求に継続して取り組んでいただきたい。			
			出張体験メニューの開発		出張紙漉き体験1件、和紙工作メニュー3種	年4種	出張体験を活かして、R8年度からは和紙工作メニューを通年行う				
			アーティストとの交流・サポート	随時	フランス人インフルエンサー、写真アーティストなど	年5回	作品発表時に使用していただいた、今後も継続したい				